

平成 2 5 年 度
事 業 報 告 書

社 会 福 祉 法 人
ふ きの と う の 会

1. 法人本部

上用賀に本社を移してから、本格的に活動する年度となった。地域の関連機関との連携や、新規拠点を活用したコミュニティカフェや学習会の他、地域ネットワークを推進するために情報を発信してきた。しかしながらここ数年、民間企業の介護分野への参入が進み、新規利用者の確保等当会の運営する事業所の収益率は低下している。これに対応すべく、事業所を横断するプロジェクトを立ち上げ、活動広報やサービスの質の向上、及び機能向上に着目したプログラムの見直しを行った。しかしながら、通所介護の実績は思うようには振るわず、公益事業が順調だったが収支は厳しい状況となった。来年度に向けて、さらに収益率の向上とサービスの質の向上を目的に、各拠点、各部門毎の運営体制の見直しを図りたい。

理事会、評議員会は、下記のとおり開催した。

- ・第57回 評議員会及び理事会

日 時 平成25年5月26日

場 所 ふきのとうデイホーム

議 題 ・定款の変更について

- ・平成24年度事業報告、決算報告

- ・報告事項（福祉車両の助成申請について等）

- ・第58回 評議員会及び理事会

日 時 平成25年9月29日

場 所 ふきのとうデイホーム

議 題 ・法人役員の任期更新について

- ・理事長に事故ある時の職務の代理について

- ・報告事項（上半期の事業実績について）

- ・第59回 評議員会及び理事会

日 時 平成26年3月23日

場 所 ふきのとうデイホーム

議 題 ・平成25年度補正予算

- ・平成26年度事業計画、当初予算

- ・報告事項（本年度の業務執行状況等）

2. 公益事業

1. 「第15回全国食事サービス活動セミナー」の開催

日時 平成25年7月21日（日）

会場 ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 本社カフェテリア

参加者 約160名

主催 全国老人給食協力会（ミールズ・オン・ホールズ日本協会）

当法人は共催として参加。

2. サービス付き高齢者向け住宅アンジェリカハイツの開設、運営

現在満室で、入居希望者からの問い合わせが数多く寄せられている。毎週水曜日にコミュニティカフェを開催し、入居者のコミュニティを推進すると共に、地域のボランティアや入居者同士のつながりをつくる貴重な機会となっている。

生活支援サービスは、ふきのとうスタッフによる毎日の安否確認および相談、総合警備保障㈱との契約による夜間・休日の緊急対応等が行われている。穏やかな見守りのもと、可能な限り自立した高齢者の暮らしが始まっている。

3. 老人給食協力会ふきのとうとの連携

ふきのとうの本部毎日型食事サービスやホームヘルプサービス活動に対する支援、また地域協働を推進するであろう会合や催事等の開催を支援した。

①コミュニティカフェ・ふきのとう 孤立予防の地域体制づくり協議会

・第1回 平成25年8月26日（月）参加者10人

・第2回 平成25年10月9日（水）参加者 8人

・ふきのとう “kite^{きて}-mite^{みて}” バザー

平成25年10月27日（日）の11時～15時 参加者 120人程度

目的…福祉を通じた地域の交流・出会いの場の提供

・ふきのとうコミカフェ居酒屋 平成26年11月30日（土）参加者28人

ボランティアや地域との連携を深めるために交流会を開催した

②ふきのとうゼミナール 平成26年1月18日 参加者23人

第1回 食のつながりから地域の居場所づくりへ

講師：坂田朱美さん（NPO法人いきいき会代表理事）

高槻の取り組みや地域の居場所「えにし庵」等を講義して頂いた。

3. デイホーム赤堤

事業所を横断するプロジェクトの議論を重ねて、体操プロジェクトを開発すると共に、実績の向上を目的とした見学会の開催や居宅介護支援事業所に対する広報のチラシのイメージの共有化を進めるなど、イメージ向上を図る取り組みに着手した。これにより、事業実績も順調に推移し、当初計画した実績通りとはならなかったが、実績の向上による収支状況は好転した。

来年度の介護保険制度改正に向けて、世田谷区内に短時間利用のリハビリデイホームの新規参入が進んでいる中、機能向上に寄与するプログラムの開発と、きめ細やかな利用者対応といった当会の特色を大切にしつつも、在宅支援の機能のさらなる強化に努めているところである。

- 1. 介護保険事業
 - ①通所介護（食事、送迎あり）
 - 一般型 定員35名（予防通所介護を含む）
 - 認知症型 定員12名
 - ②居宅介護支援
- 2. 世田谷区委託事業
 - ①配食サービス
 - ②高齢者住宅生活協力員業務

施設見学・実習の受け入れ

地域に開かれた施設づくりを目指して開放的な環境をつくることに日々努力し、教育機関と連携しながら見学や実習の受け入れを実施した。

受入延べ人数 見学者：146名 実習生：38名

ボランティア活動状況

調理	実人員	28名	延べ人員	1,354名
配達	実人員	14名	延べ人員	459名
介護	実人員	17名	延べ人員	814名
プログラム	実人員	326名	延べ人員	1,379名
		(37団体、28個人)		
	計	385名	計	4,006名

デイホーム赤堤 平成25年度 事業実績 総括表

通所介護サービス

	実施日数	延べ人数	日平均数	実人員
通常型	293	7,290	24.9	131
予防型	293	1,088	3.7	30
認知型	293	2,405	8.2	36
合計	293	10,783	36.8	197

配食サービス

実施日数	延べ人数	日平均数	実人員
294	3,750	12.8	25

居宅介護支援

延べ人数	実人員
96	9

デイホーム桜丘 平成25年度 事業実績 総括表

通所介護サービス

	実施日数	延べ人数	日平均数	実人員
通常型	294	5,770	19.6	89
予防型	294	974	3.3	24
認知型	294	2,419	8.2	32
合 計	294	9,163	31.2	145

配食サービス

	実施日数	延べ人数	日平均数	実人員
	294	5,419	18.4	33

5. ふきのとうデイホーム

実質的には本年度が事業開始年度となった。しかしながら秋口頃まで実績が振るわず、大幅な赤字となった。年度後半には、事業実績を積み重ねることができたので、来期に向けた収支改善が最大の課題となる。人材面では、スタッフも安定し、またプログラムも他事業所同様に運動プログラムの充実を図ることで機能向上に寄与するプログラムも取り入れた。次年度は、実績を上積みするために地域の他機関とのネットワークを推進したい。

1. 運 営

一般型通所介護 定員 20 名（予防通所介護を含む）

食事、送迎、入浴あり

職員体制 管理者（相談員兼務） 1 名、相談員 1 名、看護師 2 名

介護員 4 名（非常勤を含む）

以上の職員体制により、入浴加算・サービス提供体制強化加算・個別機能訓練加算（運動機能向上加算）の各種加算に応じられるようにプログラムを展開。

2. 施設見学・ボランティアの受け入れ

地域に開かれ、共に協働する施設づくりを目指して、地域住民や各種機関と連携する活動を実施している。

- ・地元の用賀小学校からは 1 年生の全生徒（4 クラス）がクラス毎に訪れ、デイホームの利用者と交流した。
- ・世田谷ボランティア協会主催の「夏のボランティア体験プログラム」にて、多数のボランティア（中学生から社会人）を受け入れた。
- ・その他、各種プログラム（歌・フラダンス・折り紙・陶芸・茶道等）のボランティア活動も徐々に定着しつつある。

ボランティア活動状況

配膳・下膳	実人員	4 名	延べ人員	2 2 9 名
介 護	実人員	1 名	延べ人員	3 3 名
プログラム	実人員	1 2 名	延べ人員	1 1 2 名
	計	1 7 名	計	3 7 4 名

ふきのとうデイホーム 平成25年度 事業実績 総括表

通所介護サービス

	実施日数	延べ人数	日平均数	実人員
通常型	305	2,186	7.2	54
予防型	305	707	2.3	13
合 計	305	2,893	9.5	67

6.地域包括支援センター

地域包括ケアの推進とあわせて、地域包括支援センターは重要な役割を担う中核機関として位置づけられている。世田谷区は次年度に地域包括支援センターと社会福祉協議会とが連携し、福祉のワンストップサービスの拠点として位置づけることを計画している。今後益々地域との連携が求められるであろう。

1. 松沢地域包括支援センター

22年度の松沢まちづくりセンター内への移転以降、相談件数等の増加傾向は続いている。地域で認知症など、支援が必要な高齢者の見守りや消費者被害の防止を目的に民生委員、町会、サロン活動などの場に出向く地域づくり活動は、今年度165回実施した。また、地域のネットワーク推進のための会議や介護予防の普及啓発講座を月2～3回の頻度で行った。多忙の中ではあるが、赤堤在宅介護支援センター時代からの財産でもある「地域住民との顔の見える関係」を生かし、地域包括ケアの基盤づくりに努めている。

また、経堂地域包括支援センターと合同で事例検討会を行うなど、スキルアップにも取り組んだ。

2. 経堂地域包括支援センター

平成24年4月から経堂出張所内に移転し、大きく環境が変わったが、徐々に落ち着き、多忙な業務をこなしている。松沢においても同様であるが認知症や問題を抱えた家族などの支援対象が増加傾向にあり、困難ケースを対象としたケア会議は51回開催した。医療機関において入院治療のハードルが高くなったことや経済格差など、高齢者が在宅生活しか選択できない現状が支援困難ケースの増加に拍車をかけている。医療・行政機関や介護サービス事業者、民生委員などの連携強化の必要性は高く、個別支援を意識したネットワーク会議を行った。対象者数（高齢者人口）が多い地域であり、月平均の予防給付ケアプラン数も280件を越えている。

松沢地域包括支援センター

平成25年度 事業実績報告書(年間集計)

延べ相談件数		3,667
二次 予 防	介護予防ケアマネジメント実施件数	25
	基本チェックリスト実施件数	266
	二次予防事業対象者数	79
会 議 ・ 講 座	地区包括ケア会議開催数	9
	個別ケア会議(主催)	5
	地域密着サービス関連会議	0
	家族介護者の会実施数	6
	いきいき講座実施数	27
介 護 保 険	新規申請受付数	311
	更新申請受付数	338
	区分変更受付数	33
そ の 他	食の自立アセスメント実施数	51
	保健福祉サービス申請件数	71
	情報提供書発行	239
予防給付ケアプラン数		2,523
地域づくり活動 実施件数		165

経堂地域包括支援センター

平成25年度 事業実績報告書(年間集計)

延べ相談件数		3,780
二次 予 防	介護予防ケアマネジメント実施件数	16
	基本チェックリスト実施件数	230
	二次予防事業対象者数	109
会 議 ・ 講 座	地区包括ケア会議開催数	11
	個別ケア会議(主催)	51
	地域密着サービス関連会議	0
	家族介護者の会実施数	7
	いきいき講座実施数	3
介 護 保 険	新規申請受付数	442
	更新申請受付数	639
	区分変更受付数	64
そ の 他	食の自立アセスメント実施数	37
	保健福祉サービス申請件数	175
	情報提供書発行	182
予防給付ケアプラン数		3,396
地域づくり活動 実施件数		55

資金収支計算書

社会福祉法人ふきのとうの会

(自)平成25年 4月 1日 (至)平成26年 3月31日

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支			
収入			
介護保険事業収入	349,280,000	335,198,294	14,081,706
公益事業収入	10,400,000	10,400,000	0
借入金利息補助金収入	710,000	702,000	8,000
経常経費寄附金収入	355,000	380,000	△ 25,000
受取利息配当金収入	52,000	10,824	41,176
その他の収入	5,975,000	5,930,576	44,424
事業活動収入計(1)	366,772,000	352,621,694	14,150,306
支出			
人件費支出	228,150,000	227,547,949	602,051
事業費支出	42,300,000	37,967,619	4,332,381
事務費支出	83,652,000	79,864,056	3,787,944
利用者負担軽減額	90,000	31,920	58,080
支払利息支出	2,770,000	2,759,550	10,450
その他の支出	5,130,000	5,010,956	119,044
流動資産評価損等による資金減少額	0	0	0
事業活動支出計(2)	362,092,000	353,182,050	8,909,950
事業活動資金収支差額(3=1-2)	4,680,000	-560,356	5,240,356
施設整備等による収支			
収入			
施設整備等補助金収入	0	0	0
施設整備等寄附金収入	0	0	0
設備資金借入金収入	0	0	0
固定資産売却収入	0	0	0
施設整備等収入計(4)	0	0	0
支出			
設備資金借入金元金償還支出	1,340,000	1,335,000	5,000
固定資産取得支出	0	0	0
固定資産除却・廃棄支出	0	0	0
ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0
その他の施設整備等による支出	0	0	0
施設整備等支出計(5)	1,340,000	1,335,000	5,000
施設整備等資金収支差額(6=4-5)	-1,340,000	-1,335,000	△ 5,000
その他の活動による収支			
収入			
長期運営資金借入金収入	0	0	0
積立資産取崩収入	0	0	0
事業区分間繰入金収入	11,000,000	0	11,000,000
その他の活動による収入	0	0	0
その他の活動収入計(7)	11,000,000	0	11,000,000
支出			
長期運営資金借入金元金償還支出	0	0	0
積立資産支出	2,550,000	2,488,830	61,170
事業区分間繰入金支出	11,000,000	0	11,000,000
その他の活動による支出	0	0	0
その他の活動支出計(8)	13,550,000	2,488,830	11,061,170
その他の活動資金収支差額(9=7-8)	-2,550,000	-2,488,830	△ 61,170
予備費支出(10)	1,202,000		790,000
	-412,000		
当期資金収支差額合計(11=3+6+9-10)	0	-4,384,186	4,384,186
前期末支払資金残高(12)	53,181,241	52,797,330	383,911
当期末支払資金残高(11+12)	53,181,241	48,413,144	4,768,097

事業活動計算書

法人名：社会福祉法人 ふきのとうの会

(自)平成25年 4月 1日 (至)平成26年 3月31日

勘定科目	当年度決算(A)
サービス活動増減の部	
収 益	
介護保険事業収益	335,198,294
公益事業収益	10,400,000
経常経費寄附金収益	380,000
サービス活動収益計(1)	345,978,294
費 用	
人件費	230,036,779
事業費	37,967,619
事務費	79,864,056
利用者負担軽減額	31,920
減価償却費	9,386,361
徴収不能額	0
サービス活動費用計(2)	357,286,735
サービス活動増減差額(3=1-2)	△ 11,308,441
サービス活動外増減の部	
収 益	
借入金利息補助金収益	702,000
受取利息配当金収益	10,824
その他のサービス活動外収益	5,610,576
サービス活動外収益計(4)	6,323,400
費 用	
支払利息	2,759,550
その他のサービス活動外費用	5,010,956
サービス活動外費用計(5)	7,770,506
サービス活動外増減差額(6=4-5)	△ 1,447,106
経常増減差額(7=3+6)	△ 12,755,547
特別増減の部	
収 益	
施設整備等補助金収益	0
施設整備等寄附金収益	0
固定資産受贈額	3,915,538
固定資産売却益	0
事業区分間繰入金収益	0
事業区分間固定資産移管収益	0
特別収益計(8)	3,915,538
費 用	
固定資産売却損・処分損	0
災害損失	0
事業区分間繰入金費用	0
事業区分間固定資産移管費用	0
その他の特別損失	0
特別費用計(9)	0
特別増減差額(10=8-9)	3,915,538
当期活動増減差額(11=7+10)	△ 8,840,009
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額(12)	241,188,177
当期末繰越活動増減差額(13=11+12)	232,348,168
基本金取崩額(14)	0
その他の積立金取崩額(15)	0
その他の積立金積立額(16)	0
次期繰越活動増減差額(17=13+14+15-16)	232,348,168

貸借対照表

平成26年 3月31日現在

法人名 : 社会福祉法人 ふきのとうの会

勘定科目	当年度末	前年度末	増 減	勘定科目	当年度末	前年度末	増 減
資 産 の 部				負 債 の 部			
流動資産	63,067,581	71,191,063	△ 8,123,482	流動負債	21,890,297	18,393,733	3,496,564
現金預金	17,193,149	26,663,200	△ 9,470,051	短期運営資金借入金	0	0	0
事業未収金	45,638,845	43,814,264	1,824,581	事業未払金	7,972,774	13,852,406	△ 5,879,632
未収金	0	0	0	その他の未払金	0	0	0
未収補助金	76,453	0	76,453	1年以内返済予定設備資金借入金	6,909,000	0	6,909,000
未収収益	0	0	0	未払費用	4,060,148	0	4,060,148
立替金	5,390	102,251	△ 96,861	預り金	8,168	0	8,168
前払金	23,000	611,348	△ 588,348	職員預り金	2,315,207	4,166,327	△ 1,851,120
前払費用	130,744	0	130,744	前受金	625,000	0	625,000
仮払金	0	0	0	前受収益	0	375,000	△ 375,000
その他の流動資産	0	0	0	仮受金	0	0	0
徴収不能引当金	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
固定資産	396,926,314	401,098,247	△ 4,171,933	固定負債	194,755,430	201,707,400	△ 6,951,970
				設備資金借入金	151,756,000	160,000,000	△ 8,244,000
基本財産	270,075,447	272,052,732	△ 1,977,285	長期運営資金借入金	0	0	0
土地	172,000,000	172,000,000	0	リース債務	0	0	0
建物	87,075,447	89,052,732	△ 1,977,285	役員等長期借入金	25,000,000	25,000,000	0
定期預金	11,000,000	11,000,000	0	退職給付引当金	17,199,430	16,227,400	972,030
その他の固定資産	126,850,867	129,045,515	△ 2,194,648	その他の固定負債	800,000	480,000	320,000
建物	46,886,690	47,951,380	△ 1,064,690	負債の部合計	216,645,727	220,101,133	△ 3,455,406
構築物	50,688,829	54,412,058	△ 3,723,229	純 資 産 の 部			
機械及び装置	0	0	0	基本金	11,000,000	11,000,000	0
車輛運搬具	9,341,079	7,099,836	2,241,243	基本金	11,000,000	11,000,000	0
器具及び備品	2,307,979	3,254,841	△ 946,862	次期繰越活動増減差額	232,348,168	241,188,177	△ 8,840,009
建設仮勘定	0	0	0	次期繰越活動増減差額 (うち当期活動増減差額)	232,348,168	241,188,177	△ 8,840,009
有形リース資産	0	0	0	△ 8,840,009	0	△ 8,840,009	
権利	0	0	0	純資産の部合計	243,348,168	252,188,177	△ 8,840,009
ソフトウェア	0	0	0				
無形リース資産	0	0	0				
退職給付引当資産	17,199,430	16,227,400	972,030				
長期前払費用	326,860	0	326,860				
その他の固定資産	100,000	100,000	0				
資産の部合計	459,993,895	472,289,310	△ 12,295,415	負債及び純資産の部合計	459,993,895	472,289,310	△ 12,295,415